

ご家族の皆様へ

赤ちゃん成育ネットワークは、日本全国でこれまでに新生児医療を様々な方面から経験した医療従事者の集まりです。全国約200名の会員が、お子さまに関する様々な疑問にお答えし、楽しい育児が出来るようにサポートいたします。病気だけではなく、ちょっとした疑問でもどうぞ遠慮なくご相談ください。「予防接種はどうしたら良いのだろうか?」「何か気になるけど誰に相談したら良いのだろうか?」など、どんなことでも構いません。私たち会員が親身になって皆様の不安と心配を解消いたします。

また、在宅医療など専門性の高いケアに対応できる会員も多数おります。人工呼吸器や在宅酸素など、何らかの医療的ケアが必要なお子さまに関してもどうぞご相談ください。

お引越しの際も、転居先の地域で相談相手になれる元新生児科医をご紹介しますことが出来ます。

皆様の育児が笑顔あふれる楽しいものでありますように、会員一同願っております。

全国のネットワーク会員のクリニックをご紹介します。

<http://www.baby-net.jp>

成育ネットワーク

検索

会則・入会資格(一部抜粋)

第1条【名称】

本会は赤ちゃん成育ネットワークと称する。
英語名を“Network for Infant Health and Development”とする。

第2条【目的】

本会はハイリスク新生児のプライマリーケア及び周産期医療の推進を目的とし、広く海外の新生児医療にも関心を持ちつつ、会員相互の理解を深め、小児の健康の向上に寄与することを目的とする。

第3条【事業】

本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
A: NICU退院児及びハイリスク新生児のプライマリーケア
(日常診療、予防接種、心理的相談など)
B: 各地域における周産期医療体制への支援
(正常新生児へのケア、産科医との協力体制)
C: 海外における新生児医療(ケア)及びその支援体制を検討し、日本への応用についての提言

第5条【会員の資格】

本会の会員は、現在及びかつて新生児医療に関わった経験を有する医療関係者で、本会の目的に賛同するものとする。会員として登録するためには、世話人一名以上の推薦と、世話人会の同意(多数決)を要する。

第6条【入会】

入会希望者は所定の入会申込み用紙に必要事項を記入し事務局に提出し、世話人会の承認を得た上で、初年度の年会費を納入して会員となる。

細則

1条(会費)

年会費 医療機関の開設者6,000円 それ以外3,000円

2015年5月21日現在

研修フォーラムのご案内

毎年3月に、定期総会と同時に研修フォーラムを開催しています。興味ある教育講演、特別講演の他、地域での活動を報告していただくべく一般会員からも広く演題を募集しています。演題募集要項は毎年10月頃にホームページ上および会員メーリングリストにてお知らせします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

赤ちゃん成育ネットワーク入会申し込み



ホームページの入会申込書に必要事項をご記入の上、下記まで送信してください。

事務局:医療法人藤溪会 藤野医院
FAX 0944-76-1119



事務局(連絡先)

〒839-0254 福岡県柳川市大和町中島1054-2
医療法人藤溪会 藤野医院 藤野浩

赤ちゃん成育ネットワークとは

「赤ちゃん成育ネットワーク」は、新生児医療に携わった経験を持ち、その後開業医として小児科医療に関わっている医師を中心として2002年に「新生児OB会」として結成されました。その後2004年に「赤ちゃん成育ネットワーク」と名称を変え、現在に至ります。

この会の目的は、NICU（新生児集中治療室）を退院後のお子さん達のその後の発達や発育、親御さんの悩み、その他の様々な相談、さらに予防接種、風邪などの一般診療にも気軽に対応出来る、新生児医療の経験を活かした小児科医の全国的なつながりを作ることでした。その後、初代新津直樹会長、二代目金原洋治会長の下で活動が続けてきた過程で、全国的に在宅医療に対する取り組みの必要性が大きくなり、それがこの会の活動の大きな位置を占めるようになりました。

さらに会員の活動や質の向上のために、年に一回、全国各地域での会員の活動を紹介し、新生児-小児医療に関する新しい知識や情報を交換する場として、「研修フォーラム」を開催し、それらの活動をまとめた「赤ちゃん成育ネットワーク会報」を発行しています。

また、新生児医療も次第に変化し、医師・看護師に加え、臨床心理士、保育士、作業療法士、理学療法士など多くの職種が医療内容に関わるようになってきました。そのような中で、医師だけの集団であったこの会も、多くの職種の皆さんに参加して頂き、多様な医療チームとして全国的な活動を作り上げたいと考えようになり、会員の条件も「現在及びかつて新生児医療に関わった医療関係者」であればどなたでも入会出来るように変更しました。

どうぞ皆さんもこの個性あふれる百花繚乱の「赤ちゃん成育ネットワーク」にご参加いただき、子ども達と家族の将来のために一緒に汗を流しませんか！

会長 堺 武男



会報誌

会員が連携して子ども達の手助けが出来るように、各地域の会員情報や意見を交換し、地域のNICUとの情報連携も行うための会報誌を年一回発行しています。



研修フォーラム

会員の活動や診療の質の向上を目指し、乳児期早期、またはNICU卒業児の様々な問題への対応を中心にしたテーマで、年一回研修フォーラムを開催しています。



子育て支援

地域の産科医、助産師、保健師、周産期医療施設、行政と協力し、産前と産後早期に育児支援が必要な妊産婦さんと赤ちゃん、そのご家族を支援しています。



活動紹介

地域生活支援

NICU卒業児と家族が地域で生活していくための支援に関する情報を会員に提供しています。小児在宅医療実技講習会にも積極的に関わってきました。

